

高齢者とゾーンバスシステムに関する研究

岩手県立大学 正員 元田良孝
同 田中 綾

1. はじめに

盛岡市では平成11年よりオムニバスタウン計画の一環としてゾーンバスシステムを導入している。ゾーンバスは路線を団地内を回る支線バスと幹線を往復する基幹バスに分けバスターミナルを設けて乗り換えをすることでバス交通の効率化を図るシステムである。本システムは大阪市で昭和49年から実施されている例はあるが、地方都市では珍しいものである。平成13年7月に盛岡市北部の松園地区でゾーンバスの実証運行が開始されたが、現在本格実施へ向けて調整を行っている。本研究では高齢者のゾーンバスの評価を意識調査で行った。

2. 意識調査

アンケート対象者は、松園地区にある老人福祉センターを利用する60代を対象とした。また、非高齢者の利用状況・意識も知り、参考とするために北松園教員住宅の住民にも同様のアンケートを実施した。アンケートの設問は利用状況など39問である。

高齢者へのアンケートの配布と回収は、老人福祉センターで活動しているサークルの代表者へ依頼し、後日訪問し回収した。北松園教員住宅の住民へのアンケートの配布と回収は、1軒ずつ郵便受けに入れ、回収は郵送とした。アンケートの配布・回収状況は表1に示すとおりである。

表1 アンケートの配布・回収状況

	配布数	回収数	回収率(%)
松園老人福祉センター	26	16	62.5
北松園老人福祉センター	28	11	39.3
北松園教員住宅	94	47	50
合計	148	74	50

キーワード：バス交通、高齢者

連絡先：〒020-0193

岩手県岩手郡滝沢村滝沢字巣子 152-52

電話：019-694-2732 FAX：019-694-2701

E-mail:motoda@iwate-pu.ac.jp

3. 調査結果

(1) 利用頻度

利用頻度については、高齢者の約70%が半月に1回程度以上はバスを利用すると回答しているのに対し、非高齢者の約半分の人がほとんどバスを利用していない。また、高齢者・非高齢者どちらもほぼ毎日利用するという人は少なかった(図1)。

一般的に、高齢になればなるほど自動車免許保有率は少なく、自動車免許保有者であっても、加齢による身体機能の衰えから自動車の運転をしなくなる。よって、多くの高齢者は公共交通に頼ることとなる。これらのことから、高齢者のバスの利用頻度は高くなったと考えられる。

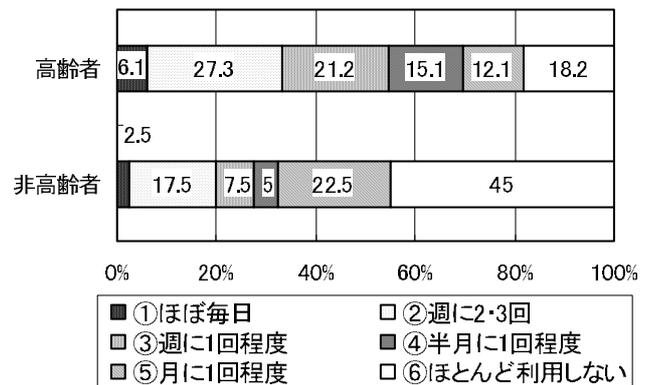


図1 利用頻度

(2) バス車両

Q.出入り口のステップの高さはどうですか。

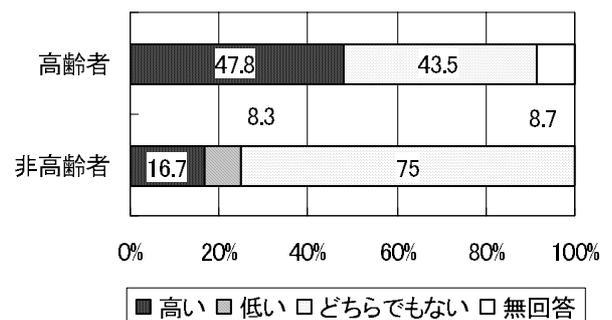


図2 ステップの高さ

高齢者で出入り口のステップの高さが高いと回答したのは 47.8%であった。非高齢者では高いと回答した人は 16.7%で、どちらでもないと回答した人が 75%と多かった。高齢者と非高齢者を比較すると、高いと回答した人は高齢者の方が多い。これは、加齢に伴う身体機能の低下からこのような結果になったと思われる(図2)。低床バスが少ないことも原因である。

(3) 乗り継ぎ

基幹バスと支線バスを乗り換える際のバスの乗降・移動については、大変であると回答した人が、高齢者で約 70%、非高齢者で約 40%であった。大変ではないと回答したのは非高齢者が約 30%であったのに対し、高齢者はわずか 4.3%であった(図3)。これは、やはり、加齢による身体機能の低下によるものであろう。

Q.基幹バスと支線バスを乗り換える際、バスの乗り降りや移動はどうですか。

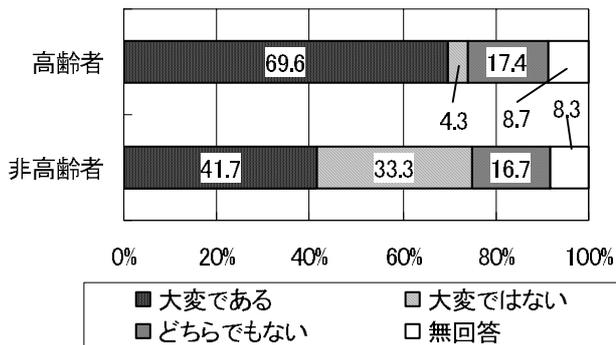


図3 移動について

(4) 運賃

支線バスの運賃については高齢者の 17.4%が「高い」と感じており、「安い」と感じているのはわずか 8.7%であった。これに対し、非高齢者では「安い」「どちらでもない」と回答している人がそれぞれ半々で、「高い」と感じている人はいなかった。

基幹バスの運賃については、高齢者、非高齢者ともに「安い」と感じている人はおらず、高齢者で 60.9%、非高齢者で 66.7%が「高い」と回答していた。

基幹バスの運賃の値下げによって、より利用すると思うかという質問に対しては、高齢者で 60.9%、非高齢者で 41.7%が「利用する」と回答している。「利用しない」と回答した高齢者がいないのに対し、非高齢者では 16.7%が「利用しない」と回答してい

る。このことから、特に高齢者においては、運賃が利用頻度を左右することがわかる(図4)。

Q.基幹バスの運賃が安ければもっと利用すると思いますか。

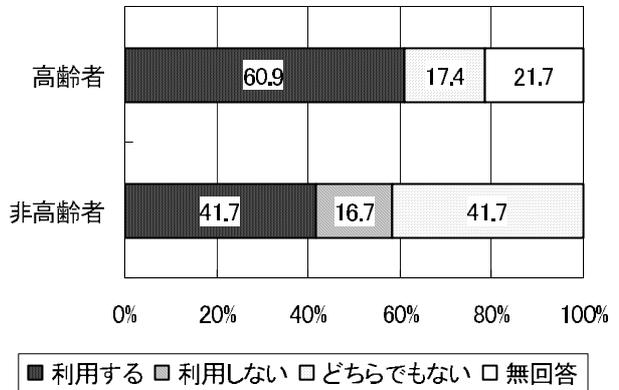


図4 基幹バスの運賃値下げについて

(5) 全体の満足度

全体の満足度については、「満足」と回答した人が高齢者で 4.3%、非高齢者で 8.3%であった。「ある程度満足」だと回答した人は高齢者が 4.3%、非高齢者では 41.8%の人がある程度満足だと回答し、大きな差が見られた。「多少不満・不満」だと回答した人は高齢者が 61.0%であったのに対し、非高齢者では 41.6%と、ある程度の差が見られた。

Q.ゾーンバスシステムは全体として満足出来ますか。

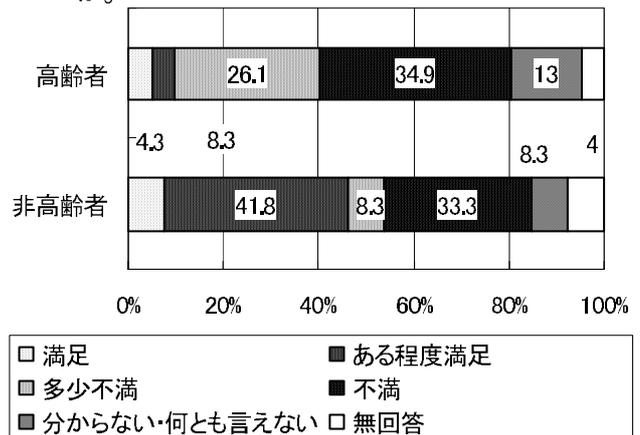


図5 全体の満足度

4. おわりに

ゾーンバスシステムは開始されたが、高齢者を中心に不満があることが明らかとなった。盛岡市ではシステムに修正を加えながら本格実施を行う予定である。引き続き調査を続け、よりよいシステムにすべく努力をしたい。

